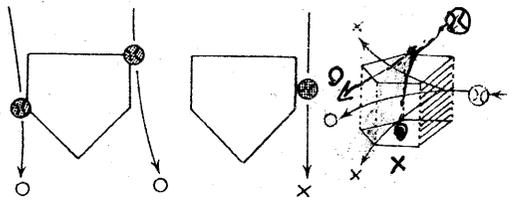
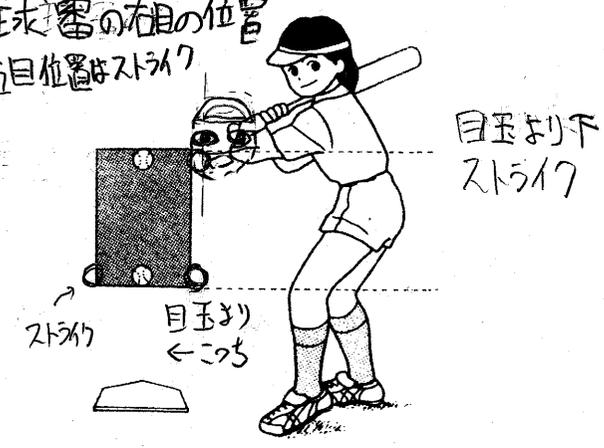


# 審判の基本動作

## ストライクゾーン

正しい投球が地面につく前にストライクゾーンを通過したとき。

球審の右目の位置  
右目位置はストライク



(Oはストライク、Xはボールを示す)

## 試合開始 プレイボール

球審はマスクを着けて捕手の後に立つ。

打者を打者席につかせる。  
塁審、プレイヤー、ベースコーチが、所定の位置についたかどうかを確認する。

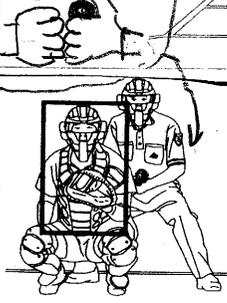
## 球審・塁審の構え

球審は、捕手の位置を考慮しながら、原則として投手に正対して本塁の中心よりインサイドに構え、両足は肩幅より広く開き、打者側の片足をやや前方にして、捕手に近づいて構える。

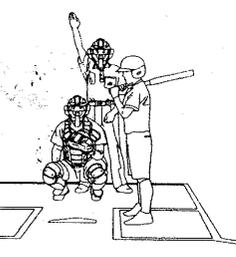
塁審は、塁に走者のいるときには両手を握り、両足の大腿の付け根付近に軽く添え構える。

投手が投手板上に立ったとき、右手を開いて高く挙げ、手のひらを前に向けて“プレイボール”のコールとゼスチャーをする。

左手カウティング



(正面)



プレイボール



塁審の構え



ランナーストライクがセーフと構える

ランナーストライクがセーフと構える  
5.5m ランナーストライクがセーフと構える  
4.5m ランナーストライクがセーフと構える

球審の構え

(横)

宣言用語

## 投球の宣告 ストライク

姿勢と構え

投手の投球動作に合わせて腰を落とし、視線を打者のストライクゾーンの上限に置き、投球判定の姿勢をとり、静止する。(投球が捕手のミットに入るまで、球のコースを視線だけで見極め、頭や上半身を動かしてはならない)



ストライク

コール・シグナル

- ① “ストライク”とコールしてから立ち上がり、右手の肘を直角に曲げてハンマーポジションを作る。このとき、肘に力が入らないようにする。
- ② 左手は身体前面のベルトの上で軽く握る。
- ③ 足の位置はそのままでもよい、閉じてもよい。

ファール

マスクは左手で取る

アウト



ボールデッドも同じ 球審のファウル

アウトは、確認したら急がずに、  
① “アウト”とコールし、左手を身体前面のベルトの上で当て、右手の肘を直角に曲げてハンマーポジションを作る。このとき、肘に力が入らないようにする。



球審のアウト

## ボールカウントの表示

両手を頭上より高く挙げて、左手の指でボールの数、右手の指でストライクの数を示し、初めにボールの数を、次にストライクの数でコールしながら回す。  
立ったままの姿勢で、随時示すように留意する。

2ストライク

2ボール  
3ボール  
時にコール



左手……ボールカウント  
右手……ストライクカウント  
ボールカウントの表示

四球

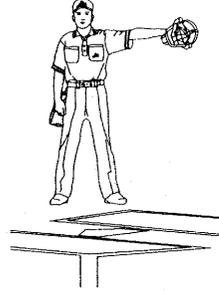
ボールフォア

四球は“ボールフォア”  
注) フォレは止めない

フェア



球審のフェア (三塁線)



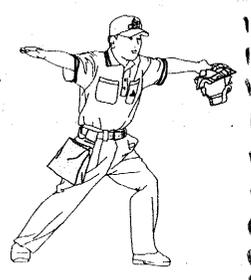
球審のフェア (一塁線)



塁審のフェア (ライト線)

## セーフ

- セーフと確認したら
- ① 手のひらを下に向けて胸に両手を持っていき
  - ② そこから真横に伸ばして“セーフ”とコールする。

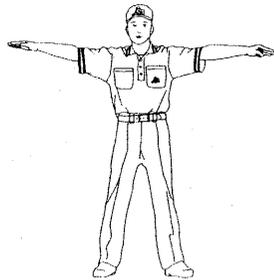


球審のセーフ



①

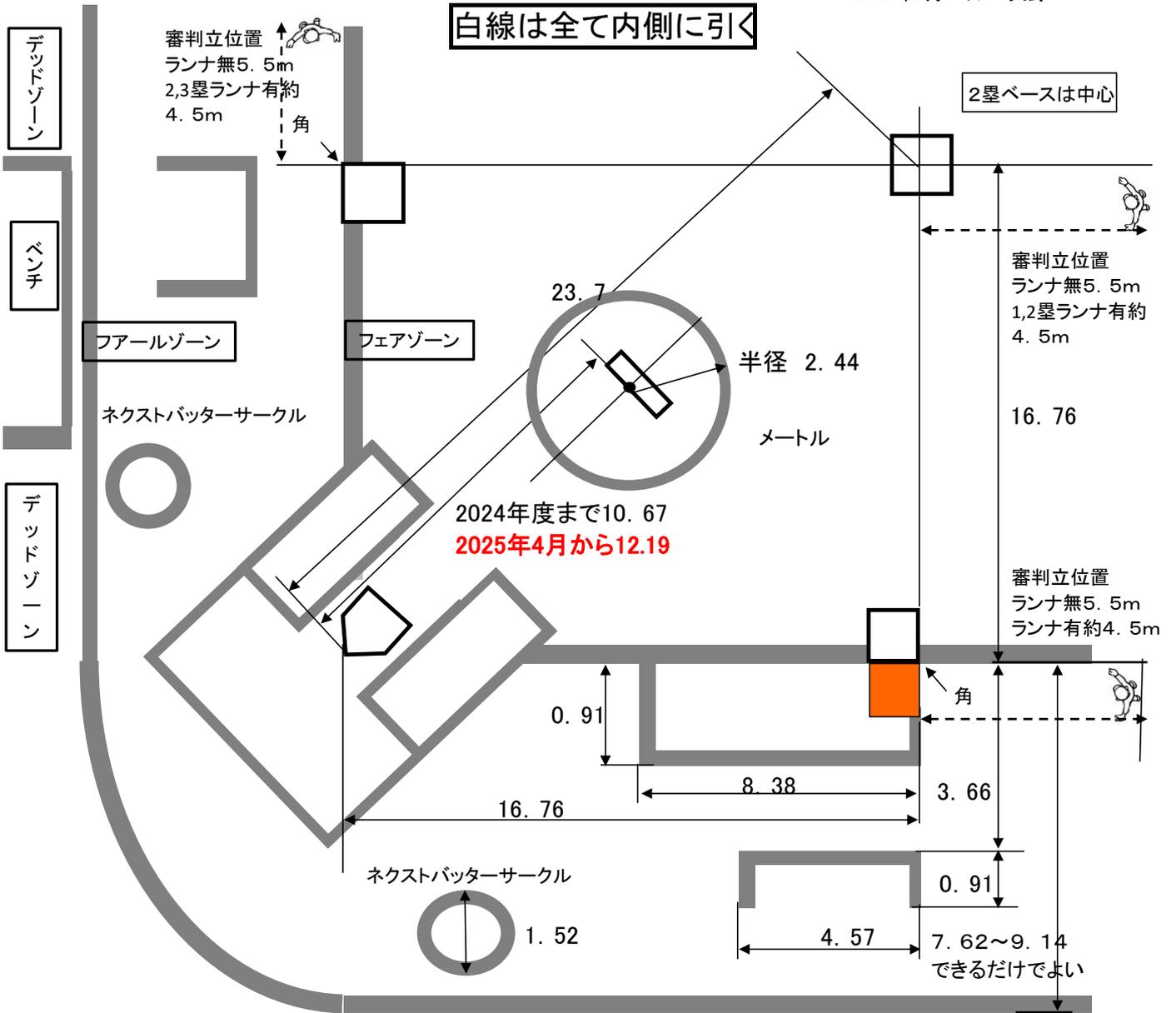
塁審のセーフ



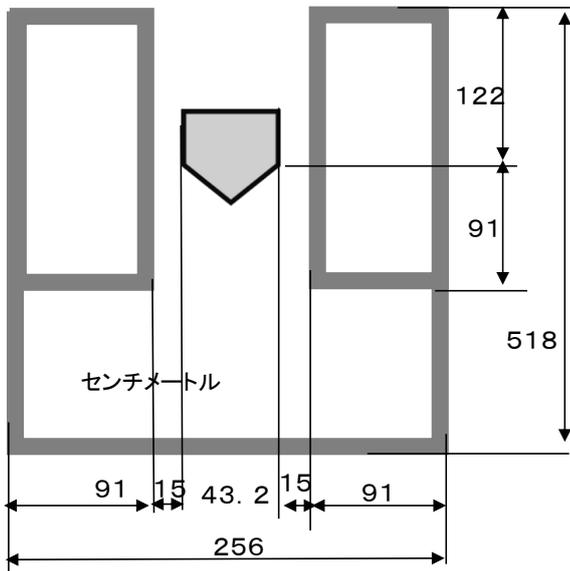
②

# ソフトボール(小学生)グラウンド寸法

作成 加古川ジュニアソフトボール連盟  
2025年2月11日 矢野

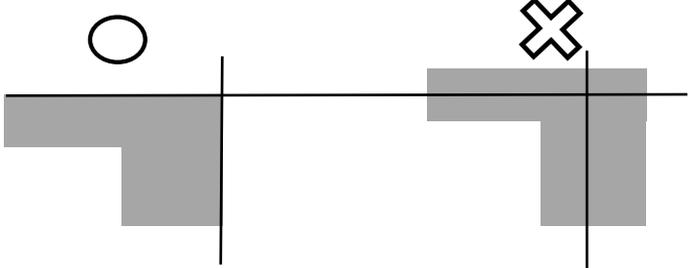


線は内側に引く



ベンチの線も引く

**白線は全て内側に引く**



**フェアとファール**

